2026年11月12日

各　位

会 社 名　フルハシＥＰＯ株式会社
代表者名　代表取締役社長　山口直彦
（コード番号：9221 東証スタンダード市場・名証メイン市場）
問合せ先　取締役管理本部長兼総務部長 上野　徹
（TEL. 052-324-9088）

営業外収益及び営業外費用の計上に関するお知らせ

当社は、2027年３月期中間連結会計期間（2026年７月１日～2026年９月30日）において、営業外収益（債務保証損失引当金戻入額）及び営業外費用（貸倒引当金繰入額）を計上しましたので、お知らせいたします。

記

１．営業外収益（債務保証損失引当金戻入額）及び営業外費用（貸倒引当金繰入額）の内容

当社は、主要顧客であるＣＥＰＯ半田バイオマス発電株式会社に対して債務保証を行っており、同社の財政状態を勘案して、従来、債務保証損失引当金を計上しておりました。（詳細は2024年５月２日開示「特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。）

当中間連結会計期間において、当社は同社に対して450,000千円の貸付けを実行いたしました（実行日：2026年７月31日）。なお、当該貸付金は、同社の借入金の返済に直接充当されるものではございません。この貸付けの実行に伴い、同社に係る損失負担見込額について、まず当該貸付金を上限として貸倒引当金（449,999千円）を計上し、これを超える額が債務保証損失引当金の残高となるよう、従来の債務保証損失引当金残高との差額（438,387千円）を取り崩す処理を行いました。これは、従来債務保証に係る損失負担見込額として認識していた信用リスクについて、貸付けの実行により、その一部を貸付金に対する貸倒引当金として認識し直したものであり、両者は同一の信用リスクに対する引当の付け替えという性質のものです。

したがって、本取引によって当社グループ全体の損失負担見込額が新たに増加したものではなく、損益に与える実質的な影響も限定的なものと認識しております。

２．今後の見通し

本件は、既存の債務保証に係る信用リスクを貸付金に対する貸倒引当金に付け替えたものであり、当社グループ全体の損失負担見込額を新たに増加させるものではないことから、2027年３月期の業績予想に与える影響は軽微であると判断しております。

以上